

一般社団法人高砂市観光交流ビューロー



2024年度事業報告書

2025.3.31

2024年度事業実施概要

2024年度においては、2025年「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催される大阪・関西万博において、兵庫県が提唱する「地域の活動の現場そのもの（フィールド）」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン（SDGs 体験型地域プログラム）」に認定された「石の宝殿・竜山周辺及び竜山石を使ったワークショップ」と「江戸初期から続く町割り」と「港湾施設、いつまでもつなぐ歴史と結びの町高砂」の二つのスポットを核として、高砂市のよさをアピールしてまいりました。また、フィールドパビリオンプログラムのセールス活動としてチラシを作成、また国内外の旅行会社との商談会にも積極的に参加いたしました。更に、兵庫県を中心にフィールドパビリオンの発信強化策として、テレビ番組やインフルエンサーの取材にも積極的に対応をいたしました。その結果、二つのスポットを合わせて、42団体729名の皆様をご案内致しました。フィールドパビリオン体験プログラムへも4団体46名の皆様にご参加いただきました。

一方、2024年度は高砂市制70周年の記念事業も多く、観光案内誌「The Takasago」の発刊や「じょうとんバスを使ったデジタルスタンプラリー」等の事業の実施、各種団体の70周年記念事業の後援等を行いました。

今後も、高砂市、高砂市教育委員会、高砂商工会議所、市内各種団体と連携を図りながら、高砂市の持つ歴史や魅力を一人でも多くの方々に知ってもらい、来訪して下さったお客様にもう一度来たいと思ってもらえる、高砂市らしさを出したおもてなしが出来る事業の展開を図っていきたいと考えております。

高砂町体験プログラム

[illegible]

高砂町ヨット体験

石の宝殿&竜山体験プログラム

石ノ乃宝殿観光交流センターへお越しください
 1700年前からつながる
 パワーストーン 伝説の浮石(石の宝殿)と電山石を結ぶワークショップ

ファミリー・ドバリエーションへ
旅

年々・年齢を問わず楽しめる

石ノ乃宝殿

ISHINOHOUDEN

いつ、だから、何のために？なぜの？に石ノ乃宝殿に浮石・三石「石の宝殿」！パワーまでもってこよう



1700年頃から最浮石洞



ワークショップ
 自分で作った
 パワーストーン
 電山石で遊ぶ
 マグネットストーン
 まで作ってください



パワーストーン



パワーストーン



石の宝殿



ワークショップ



パワーストーン



パワーストーン



石の宝殿
 おみやげもります



ワークショップ



パワーストーン



パワーストーン

大人:3,000円 小人(小学生):1,500円

- ◆ 年々・年齢問わずおみやげ・ワークショップ代込み
- ◆ 駐車場・お食事処あり
- ◆ 家族みんなで楽しめる(大人も楽しめます)
- ◆ 小学生以下の方は保護者同伴で

夏！7月まで、日本各地にも運ばれた伝説の、石の宝殿、浮石洞と電山石の宝殿
 1700年前から続く伝説の石の宝殿、パワーストーン電山石で遊ぶできる一歩一歩
 歴史をたどるおみやげもります

所要時間:約2時間30分
 コース:石ノ乃宝殿駐車場(電山石1号館・石ノ乃宝殿1号館・石ノ乃宝殿2号館)
 ー電山石浮石洞(地下石ノ乃宝殿)ー

駐車場:約1Km

お問合せは 高津市観光交流センター
 〒470-0001 高津市高津(市役所庁舎内)〒470-0001
 高津市観光交流センター 電話:059-432-0001
 email: heart@city.takagawa-city.jp

お申込みはこちらへ





龍山石を使ったワークショップ^o

1. 事務局運営事業

誘客促進事業、観光推進事業など各種事業を推進するため、担当の事務員を配置しています。

組織図と事務員の配置

理事会		事務局	
理事	13 名	事務局長	1 名
内 理事長	1 名	事務員	3 名(ふるさと納税担当 2 名含む)
副理事長	3 名	パート	6 名
監事	2 名	(うち 3 名・浮石資料館 2 名 1 日 1 名の配置)	
顧問	1 名	(ふるさと納税業務 1 名)	

2. シティーセールス事業

(1) 主体事業

ビューローが主体となって、高砂市の様々な魅力の発信や誘客促進を行いました。

(2) PR 事業

今年度は各地から観光案内誌を送ってほしいとの要望が多く寄せられました。近隣の道の駅や観光案内所にはイベント情報や観光案内誌「The Takasago」などの配布を行いました。また、各種マスコミ等の取材に対応。中でも、ひょうごフィールドパビリオン関連の取材が多く、特に番組制作やインフルエンサー・ユーチューバーの取材に積極的に対応いたしました。

取材の一部

実施日	内容	場所
6/25(火)	取材：朝日放送「ニュースおかえり」	高砂町周辺
7/29(月)	取材：兵庫県広報課「ここがフィールド」	高砂町＋生石神社周辺
8/23(火)	取材：サンテレビフィーパビ	生石神社・竜山周辺
10/18(金)	取材：インフルエンサー（ひょうご観光本部）	高砂町＋生石神社周辺
11/18(月)	取材：バンバンテレビ	高砂町動画撮影
12/26(木)	取材：インフルエンサー（兵庫県広報広聴課）	高砂町周辺
1/29(水)	取材：兵庫県万博推進課	高砂町周辺
2/18(水)	取材：兵庫県万博推進課	生石神社

ホームページに動画ライブラリーのページを追加しました。許可されたコンテンツなどを今後も掲載し、広報活動に努めたいと思います。

URL⇒[動画ライブラリー](#) | 一般社団法人 高砂市観光交流ビューロー公式 Web サイト



シーボルトも訪れた！1700年の歴史を紡ぐ奇跡のパワーストーン 竜山石～高砂・石の宝殿～/ココがフィールド！
0
兵庫県 制作



【絶景】日本三大奇の石の宝殿がすごい...！兵庫県高砂のレトロな街並みをおすすめ観光スポット
もろんのんTV様 制作



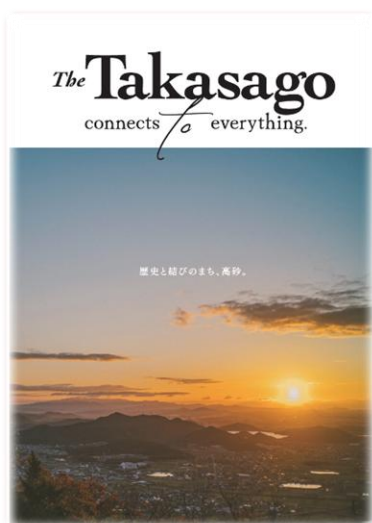
奇跡のパワーストーン！竜山石～2024.9.22「ひょうご発信！」THAT'S FIPAVI～
サンテレビ様 制作

観光パンフレットの配布枚数

種類	部数	種類	部数
The Takasago	12,000 部	高砂町ぐるぐるまっぷ	4,000 部
日本三奇	4,000 部	竜山めぐりまっぷ	2,000 部

市制 70 周年記念事業の一環として、観光案内誌「観詰ブック」を全面改訂して「The Takasago」を発刊いたしました。「歴史と結びのまち」と「connects to everything（すべてのものが繋がる）」をコンセプトに、高砂の魅力に出会いに行く 1 day trip をテーマに制作しました。初版 1 0 0 0 0 部発行しましたが、好評で 2 0 0 0 部追加いたしました。パンフレットについては、急激な紙代・印刷代の高騰により、要望に十分な量を印刷することが難しい状況です。今後改訂版発行時に、オンデマンド印刷の活用やページ数の削減などコストダウンの実現を図る予定です。

観光案内誌「The Takasago」



(3) 【じょうとんバスを使ったデジタルスタンプラリー(市制 70 周年記念事業)】(5 月 11 日～6 月 30 日)

高砂市の観光施策推進及びじょうとんバス観光ルート P R の為、市役所都市創造部の市制 70 周年記念事業としてデジタルスタンプラリーを実施しました。

(5) 地域観光資源の多言語化事業

2023 年度、2025 年大阪・関西万博やインバウンド観光客を見据え、観光資源の多言語化の準備を始めました。観光庁の助成金事業「地域観光資源の多言語化」事業に応募し、採択され市内観光スポットはもちろんのこと、祭や能や食など高砂の文化に関することを、実際に日本在住の外国人のライターと市内各所を回り、ライターが感じたままに文章化する作業を実施しました。合計 43 の事柄について英語訳を完成いたしました。2024 年度は、この英訳を活用し、「地域観光資源の多言語化」事業を活用し、韓国語・中国語への翻訳を実施しました。今後、各コンテンツをどのように活用すかが課題となります。

高砂神社 / 常夜灯、本殿、能舞台、相生の松、工業松右衛門像

<韓国語>

다카사고 신사

상아등

1799년에 만들어진 석조 등탑입니다. 당시에는 세토 내해 동부의 하리마탄 해안에 인접해 있어 오가는 선박을 위한 등대 역할을 했습니다. 이렇게 마을은 항구로 인기를 끌며 중요한 교역소, 지역의 중계지점으로 발전했습니다. 현재의 상아등은 다카사고 신사 경내로 이전되어, 사람들이 여행의 안전을 기원하는 장소가 되었습니다.

본전

다카사고 지역의 상징인 이 신사는 약 1,700년 전에 해안가에 지어졌습니다. 모래사장과 소나무 가로수가 있는 매력적인 장소를 것입니다. 그 후, 방위 목적으로 성을 쌓기 위해 축된 후, 다시 현재의 위치로 옮겨졌습니다. 사람들은 본전 지붕 위에 있는 사나운 얼굴의 기와가 악령을 쫓아내고, 바다 재해로부터 사람들을 지키며 사랑하는 남녀에게 행운을 가져다준다고 믿습니다.

노(能) 무대

2013년에 노(能)의 상연 작품인 다카사고의 기원으로 불리는 이 장소에 노(能) 무대가 세워졌습니다. 이 작품은 유네스코 무형 문화유산으로 일본 전통 예술인 '노(能)'의 제 1인자로 불리는 배우 겸 극작가인 제이미 모토키요(1363-1443)가 쓴 것입니다. 극 중에서 가수는 "다카사고에서 배에 돛을 올려 포구를 넣고 넣어, 달과 함께 밀려오는 밀물의 파도, 아아지 섬 그림자를 스쳐 멀어지는 나루로 앞바다를 지나, 벌써 스미노에에 달았네, 스미노에에 달았네"라고 노래합니다. 부부화합을 연상시키는 이 노래에는 현재의 호고현과 오사카부의 여러 장소가 등장합니다. 커다란 노(能) 무대는 이 작품을 축하하고, 이 지역과 부부화합의 관계를 강조하기 위해 지역주민들이 세운 것입니다. 그리고 무대에 그려진

高砂神社

常夜灯

这座石灯笼建于1799年。它原本面朝濠户内海东部的播磨滩海岸，是为过往船只引航的灯塔，当地小镇也因此发展为一处人气兴旺的港口、重要的贸易站点和该地区的交通枢纽。后来，这座通宵不灭的常夜灯被挪到了如今所在的高砂神社内，人们来到这里祈求旅途平安。

本殿

这座神社是高砂的象征，其历史可以追溯到大约1700年前。当时，人们可能是看中了沙滩与松林的景致，把神社建在了海岸附近。后来，因修建守卫城镇的城郭，神社一度搬迁，最终才迁至如今所在的位置。相传，本殿（正殿）屋顶上面奇异的鬼瓦，能够吓退恶灵，保护出海者，甚至能为恋爱中的人们带来好运。

能舞台

高砂神社的能舞台“神乐殿”建于2013年，神社被认为是能剧《高砂》的发祥地。这部剧作由能剧演员、剧作家世阿弥元清(1363-1443)创作。能剧是日本传统表演艺术，现已登录为联合国教科文组织(UNESCO)非物质文化遗产，而世阿弥元清则被誉为能剧表演艺术领域的领军人物。在这部戏剧中，歌者这样咏唱：高砂岸边扬帆行，海上明月共潮生，淡路岛影逐波过，鸣尾洋面随风去，不宽已是住之江。唱词不禁令人联想到夫妻相濡以沫的画面，唱词中提到的几个地方就位于如今的兵库县和大阪府。

这座大型能舞台是本地居民为纪念这部能剧作品而建，也意在彰显高砂与婚姻长久和睦之间的关联。舞台背景上绘制的松树里藏着三颗心，据说，如果把它们全都找出来，就能得到祝福。这座一座长长长长的能舞台。

(6) 高砂応援大使の委嘱

高砂市の魅力を広く市内外に情報発信していただき、市の知名度とイメージアップや観光のみならず、自然・歴史・文化・商業・産業など住み良いまち高砂市のアピールにご協力いただく、高砂応援大使に2024年度新たに2名の方に委嘱をお願いしました。

【そえんじさん】(11月10日文化会館)



【米所裕夢さん】（3月10日文化会館）

Yoneso Hiromu

2025.3.29

高砂市文化会館【大ホール】

米所裕夢（よねそ ひろむ）氏、兵庫県高砂市出身。2011年19歳の時に、プロデュース作品である「blast」最年少として入選。翌年2012年の「blast Japan tour 2012」ではソリストに抜擢。その後はフリーランスとしてジャズ・アンサンブルに参加。舞台「ワンピースの夢」では中心的な役柄を担う。ジャズ・アンサンブルのバンドリーダー・ドラマー・ソリストとして活動。現在はアーティストサポートやゲーム音楽などのCDレコーディングをする専ら「Hiromu Yoneso's solo project "VibAir"」パイプエアーを2022年より始動。「聴く人の耳に残る曲を作りたい」というテーマで、自身のドラム・ピアノ・ヴォーカル・ギター・ベース・キーボード・パーカッションを使い、その曲の魅力を伝える活動をおこなっている。

10:30 workshop

*** performers Beats**
呼吸法（プレストレーニング）マウスピースを使った基礎練習
構え方、姿勢について
楽器の鳴らした方（音のツボの捉え方）
楽器を使った基礎練習
Q&A コーナー等

*** 応援大使委嘱式**
高砂市のいいところを市内外に広く発信にご協力いただくため、このたび、米所裕夢さんに高砂市応援大使を委嘱します！

14:00 スペシャルライブ

*** Hiromu Yoneso's solo project "VibAir"**
2022年始動、自身のドラム・ピアノ・ヴォーカル・ギター・ベース・キーボード・パーカッションを使い、その曲の魅力を伝えるソロ活動 **Live "VibAir"**（パイプエアー）を高砂で開催します！

"VibAir" Since 2022

主催：（一社）高砂市観光交流ビューロー 〒676-0041 高砂市高砂町今津町 533-1
TEL 079-441-8076 FAX 079-441-8077



米所裕夢 yoneso hiromu

プロフィール

1992年 兵庫県高砂市生まれ。
2011年 19歳の時に、プロデュース作品「blast」に最年少として入選。
2012年 「blast Japan tour 2012」ではソリストに抜擢。その後はフリーランスとしてジャズ・アンサンブルに参加。
2018年 テレビアニメ「ワンピース」を題材とした舞台「ワンピースの音楽」にソリスト・プラスリーダーとして参加し、中心的な役柄を担う。
2020年 3年間千葉県の海をテーマとした某テーマパークのレギュラーバンドにリードドラマーとして参加。

現在はアーティストサポートやゲーム音楽などのCDレコーディングを行っています。
2022年より、「Hiromu Yoneso's solo project "VibAir"（パイプエアー）」を始動。
「聴く人の耳に残る曲を作りたい」というテーマで、自身のドラム・ピアノ・ヴォーカル・ギター・ベース・キーボード・パーカッションを使い、その曲の魅力を伝える活動を行っています。

【主なアーティストサポート、レコーディング】
ユナ・フクロ、いきものがかり、ONE3、Wants、SixTONES、大塚愛、Mrs.GREEN APPLE、Nagico

blast プラスト!
アメリカの都市戦争に起源をもつ伝説的ドラマ・コメディ・マーチングバンド・ミュージック・パフォーマンス。音楽のエンターテインメント。
かつてスター・オブ・インディアン・ドラム・アンド・ミュージック・コーを創始していたクックグループ株式会社のために、ジェームズ・メイソン（James Mason）が創始したプロデュースのミュージカル・パフォーマンス。



高砂市応援大使委嘱にまつわる経緯

昨年2月に、ご縁があり工場街のイベントに出演していただきました。地元の音楽、マーチングバンドの仲間などたくさんの方々が来場される中、お話を伺いました。楽器だけでなく音楽の魅力を伝える、夢を叶える米所さんのパフォーマンスを高砂の子どもたちにも感じて欲しいと思いました。米所さんはマーチングバンドや吹奏楽の音楽家として、所属した音楽を続けられました。マーチングがもたらした音楽の魅力を、高砂でマーチングを伝えることに思っています。それらをお伝えしたい。音楽を米所さんと一緒に、子どもたちに届けていきます。ご協力をお願いいたします。



3. 誘客促進事業

たかさご万灯祭、Night Fantasy Illusion、高砂観月能の支援3事業に加え、市内各神社の秋祭りが昨年に引き続き開催されました。更に今まで後援、協賛を実施していた多くの事業も同様に実施されました。高砂市内への誘客を促進する事業、高砂市の持つ歴史・文化・景観を市内外に発信する事業への協賛、指定管理者として運営管理を実施している工楽家旧宅の事業へ「高砂市観光交流ビューロー」として支援・協力を行いました。

（1）支援事業 3事業

たかさご万灯祭（誘客力と発信力を持つ事業）…………… たかさご万灯祭実行委員会（9月14・15日実施）

高砂観月能（誘客力と発信力を持つ事業）…………… 高砂観月能実行委員会（10月19日実施）

Night Fantasy Illusion（誘客力と発信力を持つ事業）…………… NFI 実行委員会（11月9日実施）

（2）後援・協賛事業

開催日	名 称	内 容
4/28(日)	荒井神社「国恩祭」	協賛
5/21(火)	高砂神社「尉姥祭」	協賛
5/18(土)	第9回むこうじまフェスタ	後援
7/13(土)	第10回むこうじまフェスタ	後援
9/7(土)	第15回高砂市武道振興大会	後援
12/1(日)	第38回高砂マラソン	後援
9/14(土)	たかさご万灯祭ヨットレース	後援・協賛
10/10(木)~11(金)	高砂神社 秋祭	協賛
10/12(土)~13(日)	荒井神社 秋祭	協賛
10/13(日)~14(月)	曽根天満宮 秋祭	協賛
10/19(土)~20(日)	生石神社 秋祭	協賛

10/20(日) ～11/10(日)	第 57 回高砂菊花展覧会	後援・協賛
11/16(土)	第 46 回花と緑の写生コンクール	後援・協賛
12/1(日)	おしごとのはっけんフェスタ 2024	後援・協賛
12/21(土)～22(日)	ぼっくりん CUP (サッカー大会)	後援・協賛
11/23(土)～12/2(月)	高砂市市制 70 周年記念事業 武蔵・伊織児童絵画・書道展	後援・協賛
12/14(土)	第 7 回石の宝殿・竜山周辺魅力写真展	後援・協賛
1/12(日)	曽根えびす大祭	協賛
2/23(日)	第 19 回キャンドルカフェ	後援
3/29(土)	高砂神社再建 400 年祭	協賛
3/24(月)～30(日)	高砂市小中学生書道コンクール	後援・協賛

4. 利便性向上事業

高砂市へ来ていただいた方々に対して、市内をよりスムーズに、楽しく解りやすく周遊してもらうための観光ガイドの育成や活用、案内所の運営や MAP、案内看板の作成など、来訪者への利便性の向上を図るための事業を行いました。

(1) 観光案内所運営事業

高砂駅前観光案内所「ちちり」、まちの観光会館「結びん」、「浮石資料館」、「北観光案内所」（香房たかさご食彩縁様に委託）の 4 カ所の案内所の運営を行い、市内の観光施設やイベント、企業、店舗などの案内、市内の物産品を販売しています。

2024 年度の各案内所来場者数は下記の表の通りです。

* ちちり・浮石資料館は、土日祝の開館

* 北観光案内所は、毎週水曜日・第 1・第 3 日曜日閉館

* 結びんは年中無休

名 称	2024 来館者数（人）												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
結びん	2,163	1,634	1,399	1,111	1,050	2,939	1,519	1,182	902	1,212	1,147	992	17,250
ちちり	127	113	87	62	72	676	135	149	74	79	98	82	1,754
浮 石	609	887	499	373	464	715	511	788	577	2,273	1,230	880	9,806
北観光	226	203	352	206	167	199	318	273	406	203	274	454	3,281
合 計	3,125	2,837	2,337	1,752	1,753	4,529	2,483	2,392	1,959	3,767	2,749	2,408	32,091

* カウントは手動のカウンターで集計しており、必ずしも正確ではありません

(2) 観光案内ボランティアガイド案内事業及びスキルアップについて

2024 年度は、ガイドを 42 回実施し、高砂市内外からのお客様約 729 名の皆様にご参加いただきました。ご案内したお客様からも好評で、特に歴史探訪クラブなど定期的にまちめぐりなどの例会を開催されている皆さんからは

翌年度の予約を頂いております。現状 1 2 名のガイドの皆さんが所属され、原則毎月第 3 火曜日にスキルアップと情報共有や親睦を兼ねて、月例会を開催しています。

【2024 年度ボランティアガイド実施状況】

【お客様からのお礼】

NO	実施日	ご依頼者	コース	参加人数
1	5月11日 土	神戸市シルバーカレッジ23期OB会	高砂町ベーシックコース	57
2	5月21日 火	神戸市シルバーカレッジ歴探21期	高砂町ベーシックコース	55
3	5月24日 金	加古川西公学園	竜山・生石コース	6
4	6月2日 日	千葉からの個人のお客様	竜山・生石コース	2
5	6月6日 日	高砂こども園	高砂町	37
6	6月13日 木	加古町福祉協議会	工業・高砂神社・WS	22
7	6月26日 水	阪神シニアカレッジ19期歴探クラブ	高砂町ベーシックコース	6
8	6月28日 金	賀古の里大学OB「悠の会」	工業邸＋高砂神社	18
9	8月12日 月	吉川和志	高砂町ベーシックコース	5
10	8月28日 水	東播磨県民局	高砂町ベーシックコース	5
11	9月18日 水	おとなび・ジパング北前船ガイドウォーク	高砂町ベーシックコース	16
12	9月26日 木	頼山陽ネットワーク	申義堂・十輪寺	9
13	9月26日 木	おとなび・ジパング北前船ガイドウォーク	高砂町ベーシックコース	20
14	9月28日 金	横田様（個人のお客様）	FP有料プラン	4
15	10月2日 水	明石山の会	高砂町ベーシックコース	4
16	10月6日 日	阿比留様（個人のお客様）	生石神社～松下石材店	3
17	10月11日 金	ワールドツアーサービス	工業邸＋高砂神社	8
18	10月12日 土	阪神シニアカレッジ19期歴探クラブ	高砂町ベーシックコース	31
19	10月18日 金	明石市立高齢者大学あかねが丘学園「郷土史クラブ」	ふれあいの郷生石～生石神社～ふれあいの郷生石	21
20	10月19日 土	すまいをトーク	高砂町ベーシックコース	23
21	10月24日 木	学校厚生会東播支部	教育センター～生石神社～松下石材店	24
22	11月5日 火	播磨地区保護司連絡協議会	御影屋WS～高砂神社～工業邸	12
23	11月5日 火	播磨地区保護司連絡協議会	高砂神社～工業邸～御影屋	12
24	11月5日 火	播磨地区保護司連絡協議会	十輪寺～梅が枝湯～善立寺～工業邸～高砂神社	12
25	11月5日 火	播磨地区保護司連絡協議会	梅が枝湯～十輪寺～善立寺～高砂神社～工業邸	12
26	11月9日 土	阪神シニアカレッジ歴探クラブ	高砂町ベーシックコース	15
27	11月10日 日	姫路城ボランティアガイドGP	生石神社～松下石材店	6
28	11月10日 日	そえんじファンクラブ	高砂町ベーシックコース	3
29	11月15日 金	上郡町生涯学習支援センターふるさと探訪講座	工業邸＋高砂神社＋まち並み散策1.5時間	21
30	11月19日 火	市役所文化スポーツ課（高砂学下見）	高砂町ベーシックコース	2
31	11月23日 土	手話サークル夢はたる	FP有料プラン＋ヨット体験	15
32	11月24日 日	個人（ガイド研修希望）	高砂町ベーシックコース	2
33	12月4日 水	神戸市港湾局ファムツアー	高砂町ベーシックコース＋御影屋WS	9
34	12月8日 日	芦屋市商工会研修	FP有料プラン＋ヨット体験	17
35	12月9日 月	神姫バスファムツアー	FP有料プラン	15
36	1月21日 火	フラワー地区老人クラブ連絡協議会	高砂神社・曾根天満宮・鹿嶋神社	45
37	1月22日 水	古典と歴史サークル：風	高砂町ベーシックコース	19
38	2月9日 日	小口様	花井家・大崎家・工業邸	3
39	2月10日 月	賀古の里大学OB「悠の会」	高砂町ベーシックコース	33
40	2月15日 土	猪名川町観光ボランティアガイドの会	FP有料プラン	10
41	3月2日 日	健康22期歴探OB会	高砂町ベーシックコース	20
42	3月25日 火	郵船クルーズ	生石神社・浮石	70

先日は大変お世話になりました。山出尚子です。石の宝殿素晴らしかったです。色々なお話も伺えてとても楽しかったです。念願の竜山石も頂けて良い思い出になりました。これから本格的に暑くなってきましたがどうぞお身体ご自愛ください。また伺わせさせていただきます。ありがとうございました。

9月26日は早朝からありがとうございました。2名のガイドさんによるご解説、申義堂の時間外の開門、参加者の車の送迎など心温まるおもてなしをいただき、参加者一同感謝しております。短い時間でしらが、参加者9名全員が初めて訪れた高砂で、さまざまな思い出ができました。心より御礼申し上げます。

頼山陽ネットワーク
豊田

【案内風景】



5. 結びのまち推進事業

高砂市は夫婦和合長寿を謡った謡曲「高砂」発祥の地として、「結びの町」をキーワードに誘客促進事業を行っております。その一環として「人・モノ・こと」様々な縁を結んでもらいたい！という思いから、2023 年度より、高砂市観光交流ビューロー(工楽松右衛門旧宅)は「趣味コン」イベントの開催をスタートしました。



* 詳細は工楽松右衛門旧宅の事業報告に掲載しております。

6. 物産品事業

(1) 市内物産品 PR 事業

2024 年度は、例年参加している、加古川踊こまつりや向島フェスタなどに加え、市制 70 周年を記念した、Takasago フェスタや大阪関西万博のプレイベントである、フィールドパビリオンフェスティバルや、あわじカラフェスティバルに参加し、高砂市や高砂の物産品の PR に努めました。

- 5/4(土祝) 加古川踊こまつり
- 5/18・19(土日) 姫路お城祭り
- 6/1(土) 北観フェス
- 6/30(日) Takasago フェスタ
- 7/13(土) 向島フェスタ
- 8/22(木) カネカ夏祭り
- 10/12(土) フィールドパビリオンフェスティバル
- 10/26(土) 山電鉄道フェスティバル
- 11/3(日祝) あわじカラフェスティバル
- 11/11(土) ナイトファンタジーイリュージョン

山電鉄道フェスティバル・しろまる姫と共演



今後もイベント毎に集客力や高砂との関連、客層等を精査し、最大限に PR 効果及び販売量の見込めるイベントに積極的に参加したいと思います。

(2) 市制70周年記念関連商品の販売

【ぼっくりんポロシャツの市民の皆さんへの販売】

夏を快適に！
イベントなどに！

市制70周年記念

ぼっくりんポロシャツを着ませんか？

例年、職員がクールビズの一環で着用していたぼっくりんポロシャツを、市民の皆さんにも販売します。

高砂市観光交流ビューロー ☎441-8076

シティプロモーション室 ☎451-6796



例年、市役所職員の皆さんがクールビズの一環で着用していたぼっくりんポロシャツを、市民の皆さんへ販売しました。

その他、市制70周年記念缶バッジや市民プールでのぼっくりんラムネの販売など

7. 委託事業

(1) ふるさと寄附金記念品発送等事業委託

ふるさと寄附金を推進する為、担当職員3名を配置し、ふるさと寄附金の記念品発送、開拓、企画、PR等に関する下記の事業を実施いたしました。

1. 記念品の発送管理業務

◇ 2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）34,165件

高砂市ふるさと寄附金前年度対比寄附額

2023年度		2024年度		対前年比	
件数(件)	寄附額(円)	件数(件)	寄附額(円)	件数(%)	寄附額(%)
18,480	314,722,000	34,165	593,612,000	185	186

2024年度においては、昨年10月の総務省による返礼品の地場基準の厳格化の制度変更や昨今の物価高の影響を受け、全国的に和牛などの高級嗜好品から、普段購入する日用品の需要が高まり、飲料や調味料といった日用品が多い高砂市が選ばれ、寄附額で前年比186%という結果になったと推測されます。

2. 記念品取り扱い事業者との交渉及び契約書締結(更新)業務

- 各事業者との調整、事業者打合せ
- 契約内容の見直し、変更
- 必要書類作成

3. 広報啓発事業

- 市外で実施される高砂市の観光啓発事業でふるさと寄附金チラシを配布。高砂市へふるさと寄附金事業の広報啓発を行いました。
- 納税サイト全6サイトの運営管理等に関する業務
 - ・ HPにて新記念品等のお知らせ、更新

- ・ HP 掲載画像の撮影、加工等
- ・ HP 掲載記念品についての紹介文、内容等を各事業者取材、作成、更新

○ 記念品の企画業務(新記念品発掘や他市状況の研究等)

- ・ HP 等における協力事業者の募集
- ・ 既存事業者へ新記念品提案のお願い、開発打ち合わせ
- ・ 市内事業者への記念品提供のお願い、打ち合わせ
- ・ 市等からご提案いただいた事業者との打ち合わせ、商品確認、商品撮影等
- ・ 市内事業者への取材等



(2) 工楽家旧宅指定管理委託業務

広報・PR 事業（条例第 4 条 1 項関係） HP・Instagram など SNS を利用し様々なニーズに向けて情報を発信するとともに、来訪者が発信したくなるような仕掛けをつくり発信力の強化に努めました。また様々なイベントサイトでの情報掲載を積極的に行いました。

講座・体験学習事業（条例第 4 条 2 項関係） 定期開催のみではなく、イベント開催に合わせてワークショップを行い、体験していただく機会を増やすことに努めました。

物販促進事業（条例第 4 条 3 項関係） 高砂市の特産品を使用して作った常夜灯やアクセサリを「工楽とクラフト。SDGs をもっと身近に」の商品を様々なイベントで出店し、PR・誘客に努めました。

展示（条例第 4 条 4 項関係） 他団体企画の特別展示や古地図や町名看板など町全体を楽しんでいただけるよう展示を増やし来館者の満足度向上に努めました。

その他の事業として、「結びのまち」や「工夫を楽しむ」といった歴史にあるストーリーをテーマとしたイベントの開催、PR を行いました。地域の中にある観光施設だからこそ、地域と密に連携し協力を得る事のできる強みを活かし企画することで、地域の人々が輝ける場所となり、事業内容が充実し、来場者の満足度向上に繋がっていると様々な場面で実感することができました。

1.管理業務実施状況

職員を適正に配置し、サービス向上と利用増進に努めました。

館内及び屋外(駐車場トイレ・堀川遺構)の清掃、来館者への案内を実施しました。

業務名		実施日	実施内容
清掃管理		毎日	全館掃除機かけ、栈の埃等掃除 裏庭、堀川遺構の除草 駐車場ゴミ拾い、トイレチェック
施設	館内	毎日 2 回	目視外観点検
	外観(堀川遺構)		
設備	消防設備	毎日 1 回	目視外観点検
	照明設備	毎日 2 回	点灯確認
	映像設備	毎日 3 回	動作点検
	その他	随時	目視外観点検
展示物・備品		随時	巡回目視点検
施設内汚れ、傷み		随時	巡回目視点検
堀川遺構・駐車場		随時	巡回目視点検
SECOM 保守点検		24 時間 365 日	外部委託
消防設備保守点検業務		—	外部委託
駐車場便所清掃業務		延べ 305 日	駐車場トイレの清掃
警備保障業務		24 時間 365 日	機械警備保障

2.利用者の利用状況

イベントの実施や団体ツアー、近隣にカフェが増え来館する年齢層が幅広くなった。

(1) 来館者数

月	開館日数(日)	来館者数(人)	月別 1 日平均 来館者数(人)	来館団体数
4	30	1,771	59	1
5	31	2,507	81	5
6	30	1,998	67	6
7	31	1,016	33	2
8	29	956	33	1
9	30	4,120	137	4
10	31	1,360	44	2
11	30	1,284	43	7
12	28	858	31	1
1	28	1,410	50	6
2	28	1,520	54	4

3	31	1,605	52	4
計	357	20,405	57	43

(2) 来館者数総累計

総累計 H30.6～ 現在	平成 30 年度～ 令和元年度	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	合計
	78,017	9,299	15,259	18,465	24,509	20,405	165,954

3.自主事業の実施状況

工楽松右衛門という人物から高砂の歴史文化、町並みへ目を向けていただき、誘客を促進することを目的に様々なイベントを開催しました。

(1) 主催運営事業

①市の歴史、文化、観光資源等に関する情報を発信し、及び提供すること

事業名	開催日	内 容
玉岡かおる文学碑建立を祝う会	4 月 20 日	除幕式来場者へのパンフレットの配布
高砂小学校歴史学習	5 月 22 日	2 年生の児童へ館内及び工楽松右衛門の説明
手話言語国際デー	9 月 23 日	手話言語国際デーのライトアップ及び手話動画配信
秋の夜長の船づくし	9 月 25 日	繁昌亭にてパンフレットの配布
ご当地缶バッヂ来館者プレゼント	11 月～12 月	まちかどミュージアムに来館された方に缶バッヂをプレゼント
はたちのつどい	1 月 13 日	フォトスポットの設置及び観光 PR



②市の歴史及び文化に関する講座、体験学習その他催事を開催すること

事業名	開催日	内 容
WORLD KITCHEN	5 月 12 日	「食べて、見て、歴史と世界とつながる」をテーマに高砂市国際交流協会と連携し開催。高砂市に居住の外国人の方に地域の歴史や文化に触れてもらい愛着を持ってもらう、異文化交流と広く発信する事を目的に開催した。
昭和縁日	6 月 16 日	景観形成地区活性化を目的に高砂町の景観を活かしたイベントを開催し歴史を知ってもらうことで町を周遊するきっかけとなり、長時間の滞在につなげる。

工楽邸のオルガンで一緒に歌う	7月27日	音楽文化推進 NPO ペんぎん舎主催で、気軽に立ち寄れる場所である事を周知するとともに、地域の人が来場するきっかけをつくることを目的に開催した。
たかさご万灯祭	9月14日 -15日	結びの灯り会場であるため「結び」をテーマにライトアップ行った。館内では篠笛の生演奏を行い癒しの空間になった。
オクトーバーマルシェ	10月6日	6会場でマルシェやワークショップが開催され、工楽家旧宅の駐車場裏庭ではマルシェ、館内ではワークショップを開催し子どもから大人まで楽しめる企画を実施した。
Night Fantasy Illusion2024	11月9日	運営協力及び物販
トライやるウィーク	11月11日 -15日	高砂中学校の生徒3名の受け入れを行った。高砂市の観光について学びながら、案内や作業などの活動を行った。
寺子屋	2月9日	高砂海文化 21C と開催した寺子屋シリーズの歴史学習として「山形蟠桃」についての講演会を実施

【ワークショップ】

事業名	参加人数
【常夜灯木工工作】日本遺産構成ストーリーのオリジナル常夜灯を作る	13
【帆布を使った小物づくり】松右衛門帆布を使った小物づくり体験	615
【寺子屋】遊び文字と海洋プラスチック学習	8
【寺子屋】鉛筆画を学ぶ	8
手びねり陶芸体験	13



③市に関連し、又は地域で生産された物品の販売を促進すること

市内外の様々なイベントに出店(出展)し、高砂市への誘客促進及び物販の販売促進に努めた。

- 4月20日 玉岡かおる文学碑 建立を祝う会 (十輪寺)
- 5月4日 マルジュウマルシェ (十輪寺)
- 5月18日 姫路お城まつり (大手前後援)
- 6月30日 繋がるフェスタたかさ GO (高砂市役所)
- 7月13日 むこうじまフェスタ(向島公園)
- 8月22日 カネカ夏まつり(カネカグラウンド)



9月3日	マルジュウマルシェ（十輪寺）
10月12日	フィールドパビリオンフェスティバル（神戸）
10月19日	たかさご観月能（高砂市文化会館）
3月21日	マルジュウマルシェ（十輪寺）
3月20日	たかさごナチュラルマルシェ

④市の歴史、文化、観光資源に関する資料を展示すること

事業名	開催日	内 容
歴史書籍の展示	随時	播磨鑑、播磨国風土記など
のすたるじあ高砂追憶の風景 吹田武志 写真展	4月1日 -30日	高砂町の風景写真の展示
高砂町ゆかりの 39人展	5月1日- 8月31日	ルネサンスみなとまち高砂主催 高砂市の歴史を人物から学ぶ
松右衛門が工夫・考案 「作業船」の模型「帆」	9月1日- 9月30日	石の宝殿研究会の研究成果の展示
まちかどミュージアム 「まちと人、歴史が結ぶ」	10月1- 12月8日	市制70周年を記念し、高砂の歴史を感じる写真 や資料の展示
高砂の今昔	12月9日- 3月31日	フィールドパビリオン認定の高砂町の今昔展

(2) マンホールカード配布事業

事業内容	実施期間	配布枚数
高砂市上下水道部発行「マンホールカード」配布	2024年度	1,273
御周印スタンプの設置、対応	2024年度	8

(3) 自主事業

工楽家旧宅駐車場に自動販売機の設置を行いました。

結びのまち推進事業の一環として、人・モノ・コトが集まり縁で結ばれてきた高砂町の歴史にちなんだテーマの「趣味コン」や「結び寿ぐバレンタイン」を開催し、歴史文化に触れる体験を通して新しいことに会ってもらえる場所の提供や、たかさご万灯祭「結びの灯り会場」である意味を知ってもらい来場へ繋げました。

(4) 職員研修・講習会・会議等

①職員研修・講習会等

研修・講習名	開催日	内 容
十輪寺のつどい	4月6日	十輪寺つどい500回記念 玉岡かおる講演会
玉岡かおる文学の碑 建立を祝う会	4月20日	除幕式に出席

ガイド研修	9月30日	高砂町の歴史勉強会
たかさご観月能	10月19日	たかさご観月能観覧・運営補助
未来づくりフォーラム	12月14日	東播磨県民局主催
消防訓練	3月30日	消火器の取り扱い、避難経路の確認等

②会議

4月2日(火)	相生市打合せ
4月4日(木)	海文化 21C 行事打合せ
4月9日(火)	NFI 打合せ
4月10日(水)	みなとまちづくり協議体
4月10日(水)	苔テラリウムワークショップ打合せ
4月16日(火)	正副事務局会議
4月19日(金)	万灯祭実行委員会
4月24日(水)	理事会
5月9日(木)	NFI 全体会議
6月5日(水)	NFI 全体会議
6月7日(金)	高砂フィルムコミッション撮影打合せ
6月19日(水)	ひょうご楽市楽座地域アドバイザー会議（県民局）
6月20日(木)	よしもとチャンネル ロケ打合せ（市役所）
6月25日(火)	市ヒヤリング
6月26日(水)	社員総会
7月8日(月)	万灯祭実行委員会
7月11日(木)	NFI 実行委員会
7月22日(月)	三者連絡会議
8月22日(木)	正副事務局会議
8月28日(水)	理事会
9月4日(水)	万灯祭実行委員会
9月19日(木)	正副事務局会議
10月17日(木)	文化会館打合せ
10月17日(木)	ひょうご楽市楽座地域アドバイザー会議（県民局）
10月17日(木)	正副事務局会議
10月23日(水)	理事会
10月23日(水)	高砂染 尾崎さん打合せ
10月23日(水)	トライやるウィーク事前訪問
10月25日(金)	指定管理プレゼン
10月31日(木)	松陽中学校 打合せ
11月21日(木)	正副事務局会議
11月25日(月)	シティープロモーション室 打合せ
12月11日(水)	みなとまちづくり協議体

12月18日(水)	トライやるウィーク打合せ
12月19日(木)	正副事務局会議
12月25日(水)	理事会
12月25日(水)	ひょうご楽市楽座地域アドバイザー会議（県民局）
1月9日(木)	ハリマニックス打合せ
1月14日(火)	イベント打合せ(ほまれの家)
2月18日(火)	万灯祭実行委員会
2月26日(水)	応援大使委嘱式打合せ（文化会館）
2月20日(木)	正副事務局会議
2月26日(水)	理事会
3月19日(水)	正副事務局会議
3月19日(木)	指定管理者研修

8. 2025年度事業に向けて

2025年度は、一昨年に兵庫県フィールドパビリオンに認定された、「石の宝殿・竜山周辺及び竜山石を使ったワークショップ」と「江戸初期から続く町割りと港湾施設、いつまでもつなぐ歴史と結びの町高砂」の2箇所のスポットを軸に、過去2年間にわたり様々な方法で情報発信した素材をブラッシュアップし、多くの方々に高砂市の魅力をお伝えしていけるよう進めて行きたいと考えています。また、市内各種団体と連携し、地域観光資源を掘り起こし、高砂独自の観光コンテンツの造成に注力いきます。その為には、収益の基盤となる、ふるさと納税委託事業はもとより、ビューローが運営する各案内施設「ちちり」「結びん」「浮石資料館」「工楽家旧宅」がそれぞれ連携しより多くの収益を上げるような工夫を進めると共に、遊びに来られた方が望むような商品の企画、開発も併せて進めてまいります。